

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ	平成8年3月4日	竹内 常高	〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝三丁目3番1号 (電話) 093-882-0001				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999				
目的	航空業界を主に、鉄道・海運等幅広い業界におけるアテンダントとして必要とされる専門知識、技能やコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	エアライン科 エアラインコース	平成22年文部科学省告示第152号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1835	825	945	200	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	29人	2人	18人	20人			
学期制度	■前期: 4月1日から9月30日まで ■後期: 10月1日から3月31日まで		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 教育目標に準じた総合評価を行う。評価はS・A・B・C・Dの5ランクとする。			
長期休み	■夏 季: 7月27日から8月31日まで ■冬 季: 12月25日から1月7日まで ■春 季: 3月1日から4月5日まで		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人、保護者への電話連絡等を行う。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア等 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空業界、鉄道、船舶業界 ■就職率^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 100% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する平成28年4月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	実用英語検定 TOEIC サービス接遇検定 検定 中国語能力検定 韓国語能力検定 サービス介助士			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成27年4月1日 在学者 30名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 29名 (平成28年3月 卒業者を含む)		■中退率 3.3%				
	■中途退学の主な理由 進路変更によるため						
	■中退防止のための取組 クラス担任による定期ガイダンスや三者面談の実施 スクールカウンセラーの配置						
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/amkc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また現場実習を通し、医療現場における実践的な技術を習得するとともに、医療業界の動向や求められる知識レベルを把握するため、医療機関や検定試験主催団体等との連携を図ることで、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。さらに卒業生の就職先である企業に対し、お客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことによつて得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 営業部次長
山下 照彦	株式会社スターフライヤー 総務人事部 部長
酒井 俊哉	北九州市役所港湾空港局空港企画部 集客・誘致担当課長
竹内 常高	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 校長
矢野 哲志	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 就職部 副主任
武田 久年	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 就職担当
森永 久美子	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ エアライン科教員

(開催日時)

平成27年度

第1回 平成27年7月2日 16:00~17:00

第2回 平成27年11月10日 16:00~17:00

平成28年度

第1回 平成28年6月16日 16:00~17:00

第2回 平成28年11月11日 16:00~17:00予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業実習を実施することにより、航空業界に必要とされる知識・技能を習得する。また、業務内容・仕事の流れを把握し、航空業界で求められる人材を育成する。

科目名	科目概要	連携企業等
空港実習	企業連携により実施。200時間の空港実習を通して航空業界において必要とされる知識・技能を習得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。実習終了後は企業からの評価を受け、成績を行う。	スターフライヤー株式会社 ANA福岡空港株式会社 株式会社JALスカイ九州 株式会社エスエーエス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来航空業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、空港実習等における企業との密接な連携により最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
青木 圭子	福岡県立折尾高等学校 校長
池田 益三	医療法人北九州病院 北九州総合病院 事務部長
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長
伊藤 美穂	ホテル・ブライダル科卒業生
今仁 優衣	子ども福祉科卒業生
上田 恵理奈	医療事務系卒業生
大郷 直美	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 理事
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウイズワタベ 代表取締役
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 営業次長
城田 浩太郎	介護福祉科卒業生
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル グループサービスチーム担当部長
能美 和則	学校法人青山学園 青山幼稚園 園長
疋田 賢吾	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 介護事業部長
牧山 智子	エアライン科学生保護者
山下 照彦	株式会社スターフライヤー 総務人事部 部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_amkc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/>(学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>(専門学校麻生医療福祉&観光カレッジホームページ)

授業科目等の概要

(商業専門課程エアライン学科エアラインコース) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			SPI対策Ⅰ-①	航空業界で多くの企業を取り入れているSPI試験の対策を学び、受験対応できる能力を身につける	1前	30		○			○			○	
○			SPI対策Ⅰ-②	就職試験で実施されるSPIの中でも特に非言語分野の理解を高め、受験に対応できる能力を身につける	1後	30		○			○			○	
○			接客マナー	お客様への基本姿勢と挨拶の仕方、言葉遣い等航空業界に相応しいマナーを習得し、実践の場で役に立つ接客スキルを磨く	1前	15			○		○			○	
○			自己表現	就職試験やサービス業界に必要な自分らしさを引き出し、表現するテクニックを学ぶ	1後	30		△	○		○			○	
○			アマデウスシステム実務Ⅰ	航空会社の予約発券業務の操作技能を身につける	1後	30		△	○		○			○	
○			運輸概論	業界の鉄道、船舶などに必要となる約款等を総合的に学習する	1後	15		○			○			○	
○			航空実務A	国内・国際航空輸送に関する基本的な概要を学ぶ	1前	30		○			○			○	
○			航空実務B	国内・国際航空輸送に関する基本的な概要を学ぶ	1後	30		○			○			○	
○			地理Ⅰ	観光産業に必要な地理を総合的に学習する	1後	15		○			○			○	
○			航空業界対策Ⅰ-A	航空業界をとりまく社会事情や今後の展望などを学ぶ	1後	15		○			○			○	
○			航空業界対策Ⅰ-B	航空業界をとりまく社会事情や今後の展望などを学ぶ	1後	15		○			○			○	

○		社会教養Ⅰ-②	履歴書作成、企業研究、自己分析の仕方等を理解し、就職活動への準備を行う	1後	30		△	○		○		○					
○		ペン字	履歴書作成からビジネス文書までペン字の基礎を習得する	1前	15		△	○		○		○					
	○	韓国語Ⅰ*A	韓国語で基本的な日常会話を養う	1後	45							○		○			
	○	中国語Ⅰ*A	中国語で基本的な日常会話を養う	1後			△	○					○		○		
○		空港実習	各航空会社において、実践的な知識を学び、航空業界の現状を学ぶ	1前	200							○		○	○	○	○
○		SPI特講	SPIの傾向を理解し、就職筆記試験対策を行う	1後	30			○				○			○		
○		実用英語補講Ⅰ	模試を中心とした検定直前対策を行う	1後	30			○				○			○		
○		SPI対策Ⅱ	航空業界で多くの企業が取り入れているSPI試験の対策を学ぶ	2前	30			○				○			○		
○		サービス介助演習	高齢者や障害者に対する基本的動作を勉強し、実践に役立つスキルを磨く	2前	15			○				○			○		
○		卒業論文	各自の就職先または業界就職に関する課題を研究し、発表させる	2後	45			△	○			○			○		
○		地理Ⅱ	観光産業に必要な地理を総合的に学習する	2後	15			○				○			○		
○		航空業界対策Ⅱ	航空業界をとりまく社会事情や今後の展望などを学ぶ	2前	30			○				○			○		
○		実用英語Ⅱ-①	実用英語検定ならびにTOEICの高得点取得を目標に学ぶ英会話力の向上と表現法を養う	2前	60			○				○			○		
○		実用英語Ⅱ-②	実用英語検定ならびにTOEICの高得点取得を目標に学ぶ英会話力の向上と表現法を養う	2後	60			○				○			○		

○		英会話Ⅱ－①	英会話力の向上と表現法を養い、日常的な会話を養成する	2 前	30		△	○		○		○		
○		英会話Ⅱ－②	英会話力の向上と表現法を養い、日常的な会話を養成する	2 後	30		△	○		○				○
○		一般教養Ⅱ－①	就職試験対策として、一般常識、時事問題などの知識を深める	2 前	30		○			○				○
○		一般教養Ⅱ－②	就職試験対策として、一般常識、時事問題などの知識を深める	2 後	30		○			○				○
○		ビジネスマナー	接客業など、実社会に必要なビジネスマナーを習得する	2 後	30		△	○		○				○
○		ビジネス実務	接客業をはじめ、幅広い分野において必要なビジネス文書作成などのスキルを習得する	2 前	30		○			○				○
○		英語表現	航空業界で必要とされる英語表現能力の習得を目指す	2 後	30		△	○		○				○
	○	韓国語Ⅱ－① *B	韓国語Ⅰの継続で、韓国語での日常会話を身につける	2 前	45		△	○				○		○
	○	中国語Ⅱ－① *B	中国語Ⅰの継続で、中国語での日常会話を身につける	2 前								○		
	○	韓国語Ⅱ－② *C	韓国語Ⅰの継続で、韓国語での日常会話を身につける	2 後	45		△	○				○		○
	○	中国語Ⅱ－② *C	中国語Ⅰの継続で、中国語での日常会話を身につける	2 後								○		
○		プレゼンテーション演習	パワーポイントの技能を高め、人前でプレゼンテーションができるようになる	2 前	30		△	○		○				○
○		Windows 総合演習	Word、Excelを総合的に活用する技術を習得する	2 後	30		△	○		○				○
○		観光概論	観光旅行業界の歴史と現状を学ぶ	2 前	15		○			○				○

○		ソーシャルスタディ	各種施設見学会などを通じ、社会性を養い、スポーツ体験で健康管理の重要性を学ぶ	2後	30		△	○	○	○								
○		実用英語補講Ⅱ	模試を中心とした検定直前対策を行う	2後	30		○		○	○								
○		ビジネスコミュニケーション	実社会での人との関わる中で、社会人として相応しい心構えやマナーを学ぶ	2前	15		△	○	○									○
○		GCBⅡ	G C B I で学び得たことをもとに、社会人としての志の教育を学び、社会に貢献できる人材を育てる	2前	15		○		○	○								
○		アマデウスシステム実務Ⅱ	予約発券業務の線操作技能を身につける	2前	30		△	○	○	○								
○		社会教養Ⅱ－①	受験企業の選定、就職に対する心構え、履歴書作成等を就職活動の支援と指導する	2前	30		△	○	○	○								
○		社会教養Ⅱ－②	受験企業の選定、就職に対する心構え、履歴書作成等を就職活動の支援と指導する	2後	30		△	○	○	○								
合計				57 科目		1835 単位時間(単位)												

「選択必須科目は、*A、*B、*Cのそれぞれで1科目選択」

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。	1 学年の学期区分	2期
イ. 卒業基準検定を取得していること。		
ウ. 学年の出席率が90%以上であること。	1 学期の授業期間	15週
エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。		

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。